



Network Storage Server

D120

設置説明書

Rev.1.50

■ はじめに

本書は、出荷時の初期設定および設置方法をご説明しております。実際に使用するにあたり必要となる管理設定や使用方法は、別紙を参照して下さい。

本書ならびに、各ドキュメントの内容を十分にご理解いただき、正しくご利用ください。

なお、製品の改良・バージョンアップなどにより本書とStealthOne D120の内容が異なる場合があります。最新の情報は弊社サイト(<http://www.stealthone.net>)にてご確認ください。

※本製品は、データの保全を保証するものではありません。大切なデータはバックアップをお取り下さい。

■ 設置場所についてのお願い

本機は精密機器ですので、極端に高温や低温になる場所や湿気や水濡れ、ほこりの多い場所、振動の多い場所、不安定な場所には設置しないでください。

このような場所に設置された場合、ファンからの異音、発熱、動作不良や重大な事故を引き起こす可能性があります。普段から、製品の周囲を確認し、問題がある場合は速やかに清掃などの対処を行ってください。

保証期間内であっても、このような原因による故障の場合は有償のご対応になります。

できる限りサーバールームやサーバーラック内などの温度が一定でほこりが少ない場所に設置することを推奨します。

あわせて保証書の注意書きも十分にお読みください。

■ 設定準備

本機は精密機器ですので、極端に高温や低温になる場所や湿気や水濡れ、ほこりの多い場所、振動の多い場所、不安定な場所には設置しないでください。また、電波障害などが発生した場合は速やかに設置場所を変えるなどの対処をしてください。あわせて保証書の注意書きも十分にお読みください。

- ① D120 の LAN 1 ポートに設定用のコンピュータを LAN ケーブルで接続します。
設定用のコンピュータは、WindowsXP 以降・Internet Explorer8 又は Firefox3.5 以上を推奨します。
LAN の設定は 192.168.88.1/255.255.255.0 に手動設定してください。
- ② D120 の電源を入れ、電子音がしたら起動完了です。
- ③ コマンドプロンプト等で 192.168.88.253 宛てに Ping を打って接続されていることを確認してください。

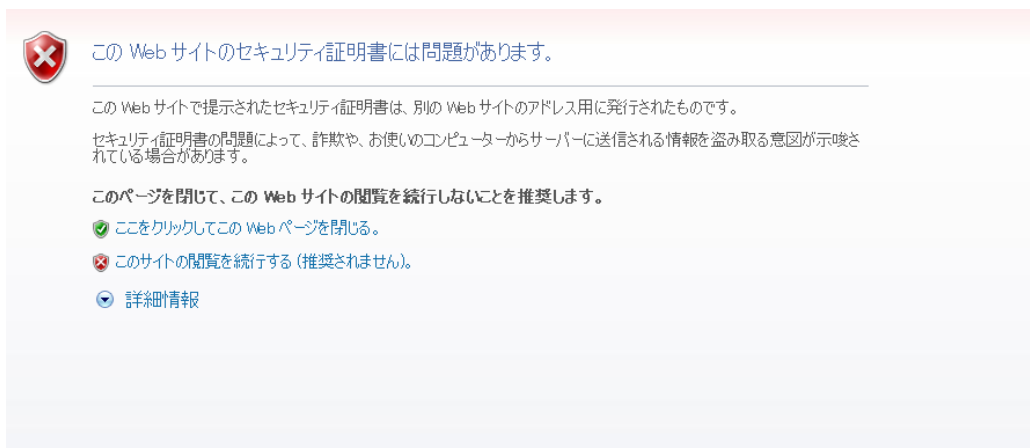
※ Internet Explorer5・6・7 では正常な設定が出来ませんので、ご注意ください。

StealthOne D120 初期設定内容

LAN 1 ポートの IP アドレス	192.168.88.253/255.255.255.0
LAN 2 ポートの IP アドレス	192.168.89.253/255.255.255.0
ネットワークコンピュータ名	D120
設定画面 URL	https://192.168.88.253
デフォルト管理者ユーザーID	admin
デフォルト管理者パスワード	stealthone123

■ Step1 設定画面へログイン

- ① ブラウザで <https://192.168.88.253> にアクセスしてください。
- ② 証明書のセキュリティ警告確認画面で「続行」を選択してください。Firefox の場合は、サイトを例外に追加してください。



※ ローカルセキュリティ証明書を発行していますので多少時間がかかる場合があります。また、認証済みの場合はこの画面は出ないことがあります




- ③ ユーザー名とパスワードを入力して「ログイン」を押してください。



※ デフォルト値はユーザー名 "admin"、パスワード "stealthone123" です。

- ④ 動作状況のページが表示されればログイン成功です。レイアウトが崩れている場合は、ブラウザが古い場合があります。

動作状況

Model	D120 3.1.0i
System Clock	2012 / 09 / 26 - 17 : 58 : 20
Serial No.	JP6C162A83A382100000
CPU	Temp: 49 C Fan: 1506 rpm
System uptime	1 Days 7 hours 13 minutes 2 seconds
System Status	Load average: 3% 4% 4%
IP Address 1	LAN 1 IP: 192.168.1.120
IP Address 2	LAN 2 IP: 192.168.222.120
CPU Usage	 3%
Memory Usage	 75%
RAID Usage	 65.33% (Used: 1207.55GB / Total: 1848.35GB)

Raid Status

Raid Level	raid5
Array Size	1953524992 (1863.03 GiB 2000.41 GB)
Used Dev Size	976762496 (931.51 GiB 1000.20 GB)
Raid Devices	3
Total Devices	3
State	active
Active Devices	3

■ Step2 管理者ユーザーID のパスワードを変更する

※ 注意 ※

必ず管理者ユーザーID のパスワードは変更して下さい。
変更しない場合、外部から D120 へ不正にアクセスされるおそれがあります。

- ① ユーザー管理>ユーザー変更 画面でユーザーID のパスワードを変更します。
“ユーザー選択”から「admin」を選び、“パスワード”へ新しいパスワードを入力し、“登録”を押します。



The screenshot shows the STEALTHONE web interface. On the left is a navigation menu with categories: サービス (Services), ユーザー管理 (User Management), 基本設定 (Basic Settings), 外部デバイス (External Devices), システム設定 (System Settings), システム状況 (System Status), ログ (Logs), and ログアウト (Logout). Under ユーザー管理, the options are ユーザー追加 (Add User), ユーザー変更 (Change User), ユーザー削除 (Delete User), and ユーザー管理 (Manage Users). The 'ユーザー変更' option is highlighted in orange. The main content area is titled 'ユーザー変更' and contains the following fields:

ユーザー選択	admin
ユーザーID	admin
パスワード	<input type="password"/>
パスワード (確認)	<input type="password"/>
表示名	Administrator
よみがな	Administrator
メールアドレス	admin@d120.stealthone.jp
機能	標準ユーザー

At the bottom of the form is a button labeled '登録' (Register).

- ② 一旦、メニューの「ログアウト」からログアウトし、再度新しいパスワードでログインし直して下さい。

■ Step3 IP アドレスを設定する

基本設定>ネットワーク 画面でネットワークの全体的な設定をします。ルーターアドレスを“Gateway”へ、D120 のアドレスを“LAN1IP”へ、DNS サーバーアドレス(通常はルーターアドレス)を“NameServer”へ入力します。最後に”登録”を押します(データの反映に少々時間がかかる場合があります)。

ネットワーク	
Gateway	192.168.1.1
LAN1 IP	192.168.1.120
LAN1 MASK	255.255.255.0
LAN2 IP	192.168.89.253
LAN2 MASK	255.255.255.0
Hostname	d120.allclear.cc
Name Server	192.168.1.1
Name Server 2	
HTTPS Port	443
Disable RAID Alarm	<input type="checkbox"/>
<input type="button" value="登録"/>	

※他の設定項目に関しましては、管理者向け操作ガイドをご覧ください。

■ Step4 ネットワークコンピュータ名の設定

基本設定>共有 画面でネットワークコンピュータ名の設定をします。“コンピュータ名”へD120のコンピュータ名を入力し、“ワークグループ”にワークグループ名を入力し、最後に”登録”を押します(データの反映に少々時間がかかる場合があります)。

WINS サーバーが LAN 内にある場合は、WINS サーバーのアドレスも入力して下さい。

The screenshot shows the '共有の設定' (Sharing Settings) page in the STEALTH ONE web interface. The sidebar on the left lists various settings categories, with '共有' (Sharing) highlighted. The main content area contains the following settings:

- 共有の使用:
- コンピューター名: D120
- ワークグループ: workgroup
- ローカルマスタブラウザ:
- WINSサーバー: (empty)

A '登録' (Register) button is located at the bottom of the settings area.

※他の設定項目に関しましては、管理者向け操作ガイドをご覧ください。

- この時点で再起動をしてネットワークに接続すると、Step5 からの設定がスムーズに進みます。再起動は、Step8 を参照してください。

■ Step5 ダイナミックDNS (そとから.com) の設定

※外部からグループウェアへのアクセス・パワーメール機能を使用するのに必要です。

基本設定>sotokara.com 設定 画面でダイナミックDNSの設定をします。“ダイナミックDNSの使用”にチェックを入れ、“ドメイン名”へ任意のアドレスを入力し、最後に”登録”を押します(データの反映に少々時間がかかる場合があります)。

ダイナミックDNSの設定

ダイナミックDNSの使用

ドメイン名 .sotokara.com

※インターネットへの接続が済んでいない場合、設定反映に時間がかかりエラーが出ます。

その場合、インターネットへの接続が済んでから、もう一度設定して下さい。

IP アドレスの反映には、プロバイダによりますが 10 分～1 時間程の時間がかかります。

ログは、ログ>システムログのダイナミック DNS ログに表示されます。FAIL と表示されている場合は、設定を確認してください。

システムログ

ログの種類を選択

時間	情報
2012/10/17 00:00	Update [testd120] OK
2012/10/17 01:02	Update [testd120] OK
2012/10/17 02:07	Update [testd120] OK
2012/10/17 03:06	Update [testd120] OK
2012/10/17 04:09	Update [testd120] OK
2012/10/17 05:09	Update [testd120] OK
2012/10/17 06:02	Update [testd120] OK
2012/10/17 07:06	Update [testd120] OK
2012/10/17 08:08	Update [testd120] OK

※毎時 00 分～10 分の間に IP アドレスのチェック・更新が行われます。グローバル IP アドレスに変更があった場合、この更新後にアドレスが変更されアクセス出来るようになります。

■ Step6 SMTPサーバーの設定

※パワーメール機能を使用するのに必要です。

基本設定>SMTP サーバー 画面で SMTP サーバーの設定をします。

プロバイダの設定情報を参考に、入力して下さい。入力したら“登録”ボタンを押して下さい。

SMTPサーバーの設定	
SMTPサーバー	<input type="text" value="mail.stealthone.jp"/>
Using 587 (default 25)	<input checked="" type="checkbox"/>
Using ESMTP	<input type="checkbox"/>
SMTP認証の使用	<input checked="" type="checkbox"/>
SMTP認証ID	<input type="text" value="d120@stealthone.jp"/>
SMTP認証パスワード	<input type="password" value="....."/>
POP3サーバー	<input type="text"/>
POP3ポート	<input type="text" value="110"/>
POP3認証の使用	<input type="checkbox"/>
POP3認証ID	<input type="text"/>
POP3認証パスワード	<input type="password"/>
<input type="button" value="登録"/>	

※設定後、ユーザーアカウントでログインし、パワーメールで送信できるか確認してください。

エラーが出る場合は、設定を確認してください。

通常の設定で送信できない場合は、「Using ESMTP」にチェックを入れてください。送信できるようになる場合があります。

■ Step7 Eメールアラートの設定

※HDD の障害が発生した場合に通知します。

基本設定>E メールレポート画面で設定します。

E メールアラートの使用にチェックし、送信元アドレスと送信先アドレスを入力します。

入力したら”登録”ボタンを押します。

The screenshot shows a web interface with a left sidebar and two main configuration panels. The sidebar contains a menu with items: サービス, ユーザー管理, 基本設定 (highlighted), アクセス権限, バックアップ, MFP連携設定, グループウェア, ネットワーク, 時間, 共有, sotokara.com設定, SMTPサーバー, Eメールレポート (highlighted), 外部デバイス, システム設定, システム状況, ログ, and ログアウト. The top panel, titled 'Eメールレポートの設定', has a checkbox for 'Eメールレポートの使用' which is unchecked. Below it, '送信間隔' is set to '1' Hour(s). There are empty input fields for '送信元アドレス' and '送信先アドレス', and buttons for '今すぐ送信' and '登録'. The bottom panel, titled 'Eメールアラートの設定', has a checkbox for 'Eメールアラートの使用' which is checked. Below it, '送信元アドレス' is 'd120-admin@stealthone.jp' and '送信先アドレス' is 'user@stealthone.jp'. There is a '登録' button.

以下の様なメールが届いた場合は、対応が必要になります。

エラーの詳細は、管理画面の動作状況及びS.M.A.R.Tのページを参照して下さい。

• Fatal Alert: Disk Error

ディスクに何らかの問題が発生しています。ディスク交換の必要があります。

• Alert: S.M.A.R.T Check Error

S.M.A.R.T エラーが発生しているディスクがあります。

そのまま使用し続けると故障する可能性が高い為、エラーの出ているディスクを交換する必要があります。

• Alert: S.M.A.R.T test completed with error

ディスクのセルフチェックテスト実行時、テストが完了しなかったディスクがあります。

そのまま使用し続けると故障する可能性が高い為、エラーの出ているディスクを交換する必要があります。

■ Step8 再起動

システム設定>パワー 画面から、再起動して設定を反映させます。



以上で、基本的な設置設定は完了です。

他の設定・使用方法に関しては「管理者向け操作ガイド」「ユーザー向け操作ガイド」をご参照下さい。

※外部ネットワーク上のPCから「パワーメール」「グループウェア」を使用するには、**設置されているルーター・ファイアウォールのTCPの443番ポートのポート開放・ポートフォワーディング設定**が必要になります。

ネットワークの設定でhttpsポートを変更している場合は、変更後のポートで設定して下さい。携帯電話から「グループウェア」を使用する場合は、**TCPの80番ポート**も設定して下さい。ルーター・ファイアウォールの設定方法に関しましては、各機器のマニュアルをご覧ください。sotokara.comの設定後にルーターの設定を変更すると、グローバルIPが変更になる場合があります。その場合は、sotokara.com設定項目の登録ボタンを再度押して再登録してください。

■ ご注意

- ・メニューに、自動アップデートの項目がありますが、現時点のファームでは対応しておりません。
- ・システム設定>アップデート>設定ファイルの”設定ファイルのダウンロード”で.binファイルの書き出しができます。万が一の時の復旧を迅速に行うため、必ず弊社サーバーにご登録ください。登録方法は、別紙を参照して下さい。

■ コンソールポートを使った本体初期化の方法

この手順は、設定した IP アドレスが不明になってしまった場合や、正常動作していない時にのみ行ってください。

- ① シリアルケーブル(クロス)をコンソールポートに接続する。
- ② ハイパーターミナルを起動する。(スタート→アクセサリ→通信→ハイパーターミナル WindowsXPの場合)
- ③ 任意の名前(例 ネットステルス)をつけて、接続してある COM ポートを選択する
- ④ 通信設定を次のように設定する。

通信速度	9600	パリティ	なし(None)
データビット	8	ストップビット	1
		フロー制御	ハードウェア

- ⑤ 電源を入れて、初期読み込み画面の後(30秒~1分)、次の ID でログオンする。

Login:	stealthone [Enter]	Password:	stealthone123 [Enter]
--------	--------------------	-----------	-----------------------

- ⑥ プロンプトが出たら次のコマンドを入力する。

StealthOne>	restore [Enter]	StealthOne>	reboot [Enter]
-------------	-----------------	-------------	----------------

- ⑦ 再起動し、IP アドレスが工場出荷時の 192.168.88.253/255.255.255.0 に変わっていることを確認する。

この他にも、「showip」コマンドで現在設定されている IP アドレスが確認できます。

※restore コマンドで初期化されるのは、基本設定のみです。ユーザー設定は初期化されません。

